

大阪社会人ハンドボールリーグ 特別ルール・要確認のルールについて

2025年4月1日

大阪社会人ハンドボールリーグ特別ルール

- ・試合登録人数は無制限に認める。(試合に何人でも出場できます。)
- ・チームのメンバー全員がスポーツ傷害保険に加入していること。
- ・多重登録は認めない。(リーグ期間中に他チームへの移籍は禁止。男子一般とシニアは可)
- ・試合時間は 25分ー10分ー25分 で、延長、PTCは行わない。
※試合間は一定の時間を確保するのではなく、日程表通りの開始時刻に試合を開始するよう努めること。
- ・タイムアウト(チームタイムアウト、PT時のレフェリータイムアウト)は採用しない。
- ・長居等、天井が低い・低い位置にネットが張ってある場合特有のケースですが、エリア内の天井にボールが当たった場合は、最後にボールに触れた選手と反対チームのスローインとなりますので注意。
- ・上記以外はハンドボール競技規則に従って行う。
日本ハンドボール協会<競技規則>のページURL: <http://www.handball.or.jp/rule/index.html>

過去からのルール変更の再確認

1) GKの顔面

GKと1対1で打たれたシュートが GKの頭部へ直撃した際の罰則の適用が開始されています。GKの安全にも関わる内容ですので、詳細な内容につきまして各チームで今一度ご確認ください。なお、PTの場合にボールの方向へと頭部を動かしていない GKの頭部にボールをぶつけると失格になります。

2)「プロポケーション」、「オーバーリアクション」、「シミュレーション」

①プロポケーション、②オーバーリアクション、③シミュレーションが定義され、
①②は段階罰、③は即座に 2 分間退場の判定となります。

3)スローオフエリアの採用

ヨドコウ桜スタジアムの南練習室・北練習室では、コートにあらかじめ書かれているエリアをスローオフエリアとします。千島の場合は設営時にテープ貼ってエリアを定義することとします。

社会人リーグでは採用しないルール

1) 負傷者のコート復帰制限

3回の攻撃を経た後にしかコートに復帰出来ない。

→3回の攻撃を経なくても復帰可能とする。

2) ブルーカード

報告を伴い別途処分を与える失格。

→当リーグではブルーカードは無しとする。

既存のルールについて

[日本ハンドボール協会のページ](#)で、競技規則等がダウンロード出来ます。

(URL等は変更となる可能性があるため、各自調べてください。)

本資料で挙げたルール以外に、既存のルールも良く理解しておいてください。